

(立木信恵師)

## 「一」について「多」

〜聖霊の豊かな働き〜

(コリント一・一〜一三)

「私はクリントンにつく」、「私はトランプに」。大統領選をめぐる米国民は真つ二つに分かれた。これを見た『タイム』誌は、自国を「合衆国(United States)」ならぬ「アメリカ分断州国」(the Divided States)と評した。トランプ新政権が発足して一か月、自国第一を掲げた政策を次々と打ち出し、分断と対立は行政対司法、更には世界中にまで及んでいるのだ。

この分断している米国の姿は何かしらコリント教会に似ている。知識も賜物も豊かな一方、分裂に党派心、自分第一、差別、礼拝や集会の混乱、一部の熱狂者、不品行が横行する教会。それがコリント教会である。これを憂いたパウロはキリストご自身について、またこのキリストによって互いがひとつとされた事実を教えている。今日のテキストを通し、イエス・キリストを主として信じる者をひとつとする聖霊の働き、ひとつとしながらも多様性を与える聖霊の働きについて考え、恵みを分かち合いたい。

### 一、違いを一つにする聖霊

コリント教会は、ユダヤ人やギリシ

ア人、自由人や奴隷など様々な人から成っていた。実際の違いや格差に加え、恐らく強い民族意識や階級意識もあった。このような人たちをひとつにしたのが、イエスへの信仰だ。三節には聖霊がこの信仰をお与えになることが書かれている。

イエス自ら「真理の御霊」と呼ぶように、聖霊は私たちに罪・義・さばきについて教え、悟らせ、主イエスへ、また真理へと導くのだ(ヨハネ一六・八、一三)。しかしこの聖霊の働きは一回限りの「出来事」ではない。信仰はコンピュータのように「自動更新」とはいかないのだ。みことばのために困難や迫害に遭ったり、この世の心遣いや富の惑わしに遭って、いつ何時、信仰を捨てるとも限らない(マタイ一三・一九、二三他)。昨日も今日もいつも「イエスは主です」と告白し、行動していくプロセスが信仰であり、今この時、主を信じ礼拝を捧げられることもまた聖霊の働きなのだ。

さらに聖霊は、主イエスを信じた多種多様な人を「ひとつのからだ」(一〇・一七)とし、それに連なる各器官とする。しかも「キリストのからだ」(事実)であつて、「からだのようなもの」(たとえ)ではない。赦された罪びとに過ぎず、何もかも違う人たちを、緊密で一体性のある交わりにして下さるのだ。人間の知恵や力、感情や相性、共通の主義主張や趣味では、人が真にひとつになることはない。私たちがすでにひとつのキリストのからだにされたということは驚くべき聖霊の業なのだ。

### 二、多様性を与える聖霊

聖霊は「キリストのからだ」(教会)

に、「いろいろの種類」の賜物・奉仕・働きを与える。この三つはそれぞれ密接にかかわっているので明確に区別することは難しいが、役割や立場、能力、活動などが含まれる。入信前から持ついた特質が用いられることもある。同じ人に長後に与えられるものもある。同じ人に長期間与えられるものもある。一時的に与えられるものもある。超自然的なものから一般的なものまで様々だ(参：一コリ一二・八〜一〇、二八；ロマ一二・六〜八；エペソ四・一一)。

しかしそれらはすべて教会の使命(礼拝、宣教、教育、交わり)に必要な、またそれに相応しい賜物や奉仕である。四説や一節を見ると「同じ御霊」「同じ主」「同じ神」「同一の御霊」と、しつこいほどに「同じ」という言葉が繰り返されているのが分かる。つまり見える所、現れ方は様々であつても、これらを与えるのは「同じ」聖霊なのだ(一一節)。

聖霊はイエスを信じる各人が「永遠のいのちをもつため」に信仰を与える。では、聖霊が教会に賜物・奉仕・働きを与えるのはなぜだろうか。ひとえに「みな益となるため」である。これらはキリストのからだ成長・成熟するために聖霊が教会に与えたギフト、恵みだ。信者各人に与えられてはいても、自分の益のためではないのだ。

これがコリント教会の一部信者が無

知だった点だ。しかも特定の賜物(恐らく異言)を過大視し、これが与えられた人は「われこそは御霊の人」(一四・三七)と高ぶっていた。まさに「やかましいどら」や「うるさいシンバル」のごとく、礼拝中、周囲を顧みることなく、大声で異言で祈っていたようだ。結果礼拝が混乱したことは想像に難くない。「聖霊の働き、聖霊の現われ」というと、とかく目立った「現象」を思いがちだ。確かに、奇跡や世界各地で起こっているリバイバルは聖霊の働きだ。しかし四〜六節を見ると、賜物・奉仕・働きといった教会の務めもまた素晴らしい聖霊の働きであり、その現われだと分かる。

\* \* \*

日本アッセンブリー教団を代表する神学教師である佐布正義牧師は「真に霊的である人とは、教会の建徳のためにいかに仕えていくかを知っている人のことなのだ」とパウロは言っています。そういう意味で、会衆の益になるように奉仕する人を霊的な人と言います」と述べている(『聖霊の神学』より)。

聖霊は私たちにキリストへの信仰を与え、私たちがキリストのからだに組み入れられた。この事実のゆえに教会は互い感謝し、互いのために祈り、仕え合う。私たちはひとつのからだ。それぞれが聖霊に委ねられた賜物を出し合い、見えるキリストのからだであるベテルキリスト教会をなお一層愛していきたい。